大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

Press Release

イベント通知

2026 年 10 月 27 日

＼デジタル観光資産を、地域の未来へ！／

「大阪大学×DTCN 共創フォーラム」を開催！

―XR・AI が拓く地域共創の可能性について大学・自治体・企業・クリエーターが議論―

【10/29（木）10 時～@中之島センター5 階「いのち共感ひろば」】

❖ 概要

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ（SSI）と一般社団法人デジタル観光共創ネットワーク（DTCN）は、2026 年 **10 月 29 日（木）**、大阪大学中之島センターで「**大阪大学×DTCN 共創フォーラム**」を共同開催します。地域の観光資源を XR・AI などの技術・コンテンツと掛け合わせ、教育・研究・地域活性化にどのような可能性をもたらすかを、大学・自治体・企業・クリエーター等が一堂に会し、新たな地域共創の可能性を議論する社学共創の場です。

本フォーラムは、一般社団法人いのち会議の共催により開催します。いのち会議は、大阪・関西万博で育まれた理念・取組・つながりを次の社会実践へつなぐ主体として参画し、地域の未来に向けた共創を進めます。

本フォーラムでは、2025 年大阪・関西万博「デジタルトラベルゾーン（DTZ）」において上映された全国の 360 度「地域魅力体感映像」を紹介します。また、8 月 1 日に設立された DTCN について、その設立背景と活動方針を発表し、フォーラム当日の 10 月 29 日から会員募集を開始します。会場では、中之島センター5 階「いのち共感ひろば」の 8m×8m の没入空間「感じる場」で 360 度「地域魅力体感映像」を上映します。手元のタブレット端末では、自ら映像を動かしながら 360 度を自由に見渡す体験もできます。全国各地の魅力を臨場感あふれる映像体験として体感でき、XR 技術による新たな観光体験を取材いただけます。

つきましては、本フォーラムの積極的なご周知と、当日のご取材・ご出席をお願い申し上げます。ご取材いただける際は、会場設営の関係上、10 月 28 日までに p.4 からお申し込みをお願いします。



360 度「地域魅力体感映像」の上映

❖ イベント概要 （プログラム詳細は p.3 参照）

日時	2026 年 10 月 29 日(木)10:00～12:00(受付開始 9:30 予定)
会場	大阪大学中之島センター5 階「いのち共感ひろば」 (大阪市北区中之島 4-3-53) オンライン配信あり
主催	大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ(SSI)車座の会／一般社団法人デジタル観光共創ネットワーク(DTCN)
共催	一般社団法人 いのち会議
対象	自治体、観光協会・DMO、大学等学術機関、企業、クリエーター、報道関係者 等
参加	一般参加・取材をご希望の方は 4 ページに記載の問い合わせ先までご連絡ください。

❖ 開催趣旨・背景

DTCN が活用を進める映像は、2025 年大阪・関西万博の「デジタルトラベルゾーン(DTZ)」で全国 58 自治体が出展した 172 本の 360 度観光映像です。大型 LED ルームでは延べ 33,328 人が視聴しました。DTZ の体験者アンケートでは、「この体験を通じて実際の観光地に行きたくなった」とする評価が平均 4.37 点(5 点満点)となり、XR を活用した体験型観光 PR の可能性が示されました。

一方、万博で生まれた映像資産を継続して活用するためには、公開の場の確保、日々の運用、機材・システムの保守といった課題があります。DTCN は、自治体・観光協会を主役に、企業、学術機関、クリエーター、プラットフォーマー等が支える共創の仕組みをつくり、観光資産のデジタルアーカイブ化、人材ネットワークの育成、施設・オンラインでの活用拡大を進めます。

大阪大学 SSI は、大阪大学中之島センターを大学・自治体・企業・市民が連携し、新たな価値を創造する「社学共創」の拠点と位置づけています。本フォーラムを、DTCN が有するデジタル資産・自治体等とのネットワークと、万博レガシーを社会の実践へつなげるいのち会議の取組を結び、デジタル技術を地域の魅力発信、教育・研究、地域との新たな関係づくりへ展開する共創のスタート地点とします。

❖ 本フォーラムの見どころ

1.「感じる場」で 360 度「地域魅力体感映像」を体感

前面・左右の壁と床の 4 面に映像を投影する 8m×8m の没入空間で、観光地にいるような体験を提供します。さらに、手元のタブレット端末で自ら映像を動かし、360 度を自由に見渡す体験や、VR ゴーグルによる個別体験も予定しています。

2. 全国のデジタル観光資産を継続活用へ

ポスト万博の取り組みとして、全国の 360 度「地域魅力体感映像」を地域の発信・教育・研究・施設展示・オンライン配信などに継続して活用していくため、大阪大学 SSI が DTCN と共同で進める今後の活動を紹介します。

3. XR・AI と地域資源の共創を議論

放送局・大学・観光協会・自治体の登壇者が、地域資源と XR・AI 等の技術やコンテンツを掛け合わせることで、教育・研究・地域活性化にどのような可能性が生まれるのかを議論します。また、大学・自治体・企業・クリエーター等が継続的につながり、新たな価値を生み出すネットワークづくりを目指します。

4. DTCN の設立・活動方針を発表

2026 年 8 月 1 日に設立された DTCN が、地域を主役とする会員・連携の仕組み、今後の活動方針、会員募集

について発表します。

5. 大阪大学の教育・研究と、いのち会議による地域での実践へ

大阪大学中之島センターを、地域を知り、感じ、対話する実証フィールドとして活用します。大阪大学 SSI が教育・研究・効果検証を担い、いのち会議が地域での具体的な実践へ展開します。

❖ プログラム（予定）

時間	内容
10:00	開会・趣旨説明
10:10	大阪大学中之島センター・SSI・いのち会議の活動紹介
10:20	デジタルトラベルゾーン（DTZ）の事例紹介
10:30	「地域魅力体感映像」上映・施設案内
10:50	パネルディスカッション 関西テレビ放送　山本 道雄 氏 大阪芸術大学　石井 友規 氏 新上五島町観光物産協会　海部 裕子 氏 横須賀市文化スポーツ観光部観光課　関山 篤 氏
11:30	DTCN 設立発表
11:50	質疑・交流
終了後	希望メディアによる取材・映像体験等

※プログラムは調整中のため、変更となる場合があります。

❖ DTCN（一般社団法人デジタル観光共創ネットワーク）について

一般社団法人デジタル観光共創ネットワーク（DTCN：Digital Tourism Co-creation Network）は、2026 年 8 月 1 日に設立されました。デジタル観光共創ネットワークは、地域が主体となって次代の観光を創るための共創組織です。自治体・観光協会を中心に、企業、教育機関、クリエーターなど多様な担い手をつなぎ、デジタル技術とコンテンツを地域の魅力発信や観光課題の解決に活用します。観光によって生まれる価値が地域に還る、持続可能な仕組みを育てていきます。

❖ XR について

XR（Extended Reality）は、現実世界と仮想世界を融合し、新しい体験を生み出す総称です。主に以下の 3 つの技術を含みます。

- VR（仮想現実）：完全な仮想空間に入り込み、360 度の没入体験を実現する技術。
- AR（拡張現実）：現実世界に仮想情報を重ね合わせて表示する技術。スマートフォンや AR グラスなどで利用可能。
- MR（複合現実）：現実と仮想の要素がリアルタイムで相互作用する技術。

デジタル観光資産 について

地域の自然、歴史、文化、景観などの観光資源を、映像や 3D データ、VR・AR などのデジタル技術によって記録・表現し、観光 PR や体験型サービス、教育などに継続的に活用できるコンテンツやデータを指します。

❖ 大阪大学 SSI・DTCN・いのち会議による共創と大阪大学中之島センターでの実践

共催の一般社団法人いのち会議は、万博レガシーを社会の中で継承し、地域での具体的な実践へつなげる役割を担います。

大阪大学中之島センター5 階「いのち共感ひろば」の「感じる場」は、SDGs や大阪・関西万博に向けて整備され、海外の社会課題の現場や、水中をはじめとする自然環境など、普段は訪れることが難しい場所、まだ行ったことのない世界を臨場感をもって体感できるコンテンツを備えています。今回、そこに全国各地の 360 度「地域魅力体感映像」が加わり、国内外の地域・自然・社会の現場に出会う場としての可能性がさらに広がります。

「感じる場」での没入体験に、「知る場」でのパネル展示、「創る場」での講演・説明・対話・体験を組み合わせ、地域を身近に感じ、その土地の暮らしや魅力を実感し、親近感・好意・関心や「もっと知りたい」「行ってみたい」「滞在してみたい」といった気持ちを育みます。こうした気持ちが、観光・再訪、滞在、ワーケーション、さらには居住・移住の検討など、地域との実際の関わりへどうつながるかを捉えます。

大阪大学 SSI は、大阪大学中之島センターを教育・研究の拠点としても活用します。教育面では、ICT・VR 等を活用しながら地域振興や多様な地域との共生を学ぶ機会とし、研究面では、没入的・インタラクティブな体験が地域への意識変容・行動変容に与える効果を検証するとともに、地域研究へ展開します。DTCN のデジタル資産・自治体等とのネットワークと、いのち会議による万博レガシーの社会実装を結び、実践はいのち会議、教育・研究・効果検証は大阪大学 SSI が担い、実践・教育・研究を循環させます。